修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　前田　寛
東京都千代田区西神田
2丁目8－7(幅ビル)
電話　(262)2426・2932
振替　(東京)3－36337

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。
従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた責務でもある。
(財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から)

運賃・料金値上げに特別措置を

(財)全修協、三地区修旅連国鉄に要請

一学期中現行運賃・料金で

厳しい情勢の中を修旅に配慮

国鉄は来る四月二十日から平均八・二%の運賃値上げを予定しているが、財団法人全国修学旅行研究協会(山本種一理事長)と、関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会(本田勝彦会長)は、三月十七日、国鉄当局に対し、運賃ならびに料金の値上げについて昭和五十九年度内に実施される修学旅行は、従来どおり現行の運賃・料金を適用するよう、特に要請を行った。

当日は、全修協から白滝専務理事、西沢修学旅行部次長、中島総務部長、三地区修学旅行連合委員会から、関東地区公立中学校修学旅行委員会運営委員長高橋尹敏氏(埼玉・喜沢中)、運営副委員長稲葉幸雄氏(千葉・白井中)、事務局長片山悦男氏(栃木・宝木中)が仁杉厳国鉄総裁あての要請書を携え、国鉄本社旅客局営業課の笹沼課長補佐、石田主席に提出し、趣旨説明の上、国鉄当局の特別の理解と協力が得られるよう訴えた。

全修協、委員会側からは、学校の現場を代表して、生徒および父兄の立場を考え、①新運賃・料金に移行した場合、修学旅行は四月上旬から開始されるため、実施時期により、運賃・料金の学校間格差を生じ、同じ都市町村の中学生にとって公平を欠くこととなり、指導上支障を来たす②修学旅行費は、入学時から毎月積立が行われ、きわめて長期の計画を経て実施されるものであり、将来の値上げ分まで見越して積立てすることには無理がある――このような点から、五十九年度も従来どおり、現行の運賃・料金を適用するよう、強く要請した。

また、新幹線修学旅行専用電車利用の中学生特急料金五割引は、昭和四十五年三月話しあいの協定が国鉄との間にできて今日に至っている経緯の上にたって今後もこの協定を変更することのないようとくに要請した。

国鉄側からは、要請の趣旨はよく理解している。今までも実施していることなので、努力したい旨、回答があった。

当日の話しあいは、きわめて相互の立場と考えを尊重するふん囲気の中で進められ、修学旅行は重要な教育的意義をもっており、国鉄としても今後誠意をもって対応していきたい―とのことであった。

なお、運賃・料金改定は四月十三日に認可され、予定どおり実施されることになるが、修学旅行に関しては、前回同様、七月十一日までは(一学期中)現行の運賃・料金を適用する旨の回答があった。国鉄の石田主席の話によると、「この要請を認めれば約五億円の収入減となり、国鉄の赤字解消に水をさすことになるとの意見もあるが、教育的見地から、前回同様の例外措置がとられることになった」とのことである。

4月20日実施予定の国鉄運賃・料金値上げに対し、修学旅行への特別措置を要請する三地区修旅連代表と全修協(3月17日、国鉄本社旅客局にて)

本年度事業の大綱〈1〉

当協会の本年度事業計画は、去る二月二十三日の第五十九回理事会で決定し、二十四日の総会に報告された。また、この事業計画を、三月三十一日付で文部省に提出、創立三十周年を来年度に迎える重要な年度としての決意を新たにして、組織をあげてその執行に取り組んでいる。その大綱は次の通りである。

一　事業の方針

協会事業の柱である修学旅行の改善向上活動と、教職員研修旅行運動について、五十八年度までに集積された継続事業の充実と、新しい分野への開発事業を進める。

二　修学旅行の改善向上活動

㈠三地区における運動の徹底と充実

関東・東海・近畿三地区修学旅行連合委員会、あおぞら号近畿地区運営協議会と共同一体となって、修学旅行が当面している教育上の諸問題、父母負担の軽減、安全確保と連合体輸送などと取り組んできたが、一そうその充実を図る。

とくに、修学旅行中における生徒の問題行動の克服と防止対策にあたってきた「問題行動特別対策委員会」による運動の一そうの徹底を期する。

㈡他地区への運動の拡充

本年度は、これらの運動を事業の重点課題として取りあげ、活動地域を、北海道、東北、中国、四国、九州等の各ブロックへ順次拡充し運動をもりあげる。

㈢自然教室等校外教育の研究推進

自然教室推進事業は59年度における文部省の新規重点事業でマイナスシーリング文教予算の中にもかかわらず五億一千七百万円の補助助成がつく。したがって実施上、各学校からも種々の問題点が提起されると思われるので、協会は、これを〝第二の修学旅行〟ともいうべき教育活動であると受けとめて、この全国的な研究調査活動を進める。

四その他の諸活動

1、「科学万博―つくば85」見学のための諸運動を行う。

2、修学旅行研究資料室を設け本年度より年次計画をもって、研究資料の収集整備を行い、研究調査活動に資する。

修旅等補助据え置き

実際の経費はカバーできる

59年度予算

本年度予算が四月十日参院本会議で可決成立し、要保護・準要保護および高度へき地校の児童生徒に対する修学旅行費と校外活動費の補助金額が決定した。

これらの補助金は、㈶全国修学旅行研究協会(山本種一理事長)と関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会(本田勝彦会長)により、恵まれない家庭の児童生徒が、修学旅行、校外学習等に全員参加できるよう毎年増額の陳情を行っている。本年度予算に対しては、昨年八月五日文部大臣宛の陳情書を提出し、要保護・準要保護および高度へき地校の児童生徒への修学旅行費等の補助金増額について特段の配慮を求めてきた。

本年度予算は、三年連続のマイナスシーリングに加え補助金一割削減の厳しい予算編成で、修学旅行費、校外活動費とも補助金単価は昨年同様据え置きとなっている。補助金合計額は、要保護・準要保護児童生徒対象の修学旅行費が千六十四万九千円増の二十五億二千二百四十二万八千円、準要保護児童生徒対象の校外活動費は百六十八万五千円減の三億九千七百四十七万九千円となっている。各補助金とも単価は据え置きであるが、自治体の補助金と併せ実際の費用を充分まかなえる金額が補助される見通しである。

昭和59年度要保護および準要保護児童生徒援助費補助金

事項＼校種		小学校	中学校
修学旅行費		11,300円	35,200円
校外活動費	宿泊を伴わないもの	670円	980円
	宿泊を伴うもの	1,650円	2,570円

全修協新理事に

岡木清氏

㈶全国修学旅行研究協会(山本種一理事長)では、岡木清氏を理事に選出した。

岡木氏は広島県出身、昭和十四年広島高等師範文科第一部国語科を卒業、四年間にわたる軍役ののち、昭和十八年から広島第一中学校、国泰寺高等学校教諭を経て、昭和二十四年から組合活動に入り、三十四年五月広島県高教組委員長、四十七年五月日教組副委員長などを歴任、五十五年九月から全国退職教職員連絡協議会会長であるとともに五十八年九月から日教済監査室長として現在に至る。

青山良道氏は、参与理事・東京都支部長として、引き続き全修協運動に協力される。

風紋

〝悪がきグループが演劇〟の見出しで昨年十一月十八日付朝日新聞に、大阪府下の一中学校突張り生徒十四人が国語教師の指導で創作劇「立ちどまるな青春」を文化祭で発表したとある▼町の集会所で練習を始めてから授業を抜け出す生徒はほとんどなく、「ワルの面倒をよくみる物好き先生の顔を立てただけ」と照れくさそうにいう。担当教師はいう「何かひとつでもやりとげようとしている……複雑で微妙な成長の芽を大人がいち早く見つけ助けていく態勢づくりが求められているのでは」と。この記事を読んで過去に手こずった数人のワルの顔が想い出される▼A君は授業中至っておとなしく、妨害するなどおよそなかったが、警察の通報で、夜通勤のOLなど襲いハンドバッグを強奪すること度々と初めて知った。手を尽したが家裁送りとなり数年後復帰したというが消息はわからない▼硬派の番長格B君も家裁送り、教育農場で作業を通じて真面目になり後私立高校で再びワルの仲間入りしたと聞いている▼C君は父親が盗み専門、兄はヤクザという悪い環境、小学校からの盗み常習犯、中学生になっておとなしそうだが、担任、生徒指導の度々の説得にもかかわらず欠席が続いた。情状酌量、卒業式には丸坊主、校内で握手、激励したが、これもわからない▼奈良女子大生の一団教師の指導で山上寺院の坐禅、数週間は清浄な心を保ち得たが、下山、日常に帰ると元の木阿弥(岡潔氏談)。修業僧は環境を選ぶとはむべなるかな▼進学一辺倒の今日、それぞれの能力を生かす労作教育の必要性をつくづくと想う昨今である。

信頼される旅づくり

こんな笑顔、残してあげたい。

修学旅行

近畿日本ツーリストは、生徒のみなさんに素晴らしい修学旅行を…の願いから、教育映画の制作に取り組んでいます。現在のライブラリーは、中学・高校生を対象とした『学習の旅シリーズ』全16篇。そして社会・文化・歴史・教育・観光・自然など、幅広い分野から制作された『ツーリスト映画シリーズ』全15篇(国内10・海外5)。いずれも修学旅行の事前指導、学習教材としてご活用いただけます。ツーリストはこのような文化活動を通じて、教育・一般社会のみなさまにお役に立つよう、努力を続けています。

◎ツーリスト映画リスト　※修学旅行の事前指導や学習教材に、どうぞお気軽にご利用ください。

学習の旅シリーズ 題名	上映時間	受賞	ツーリスト映画シリーズ(国内) 題名	上映時間	受賞	ツーリスト映画シリーズ(海外) 題名	上映時間	受賞
北海道・道東	20分		北海道	29分	文部省選定	ヨーロッパの旅	30分	日本産業映画奨励賞(第14回)
北海道・道南	20分	文部省選定	京都の庭園	26分	文部省特選			
東北	20分		京都の川	34分	文部省特選・芸術祭大賞(46年)	大いなるアメリカ	30分	
日光	15分	文部省選定				アメリカ西海岸の旅	30分	
東京	15分		大和の塔	38分	文部省選定	ハワイの休日	33分	
富士箱根	20分	文部省選定	大和の石	25分	文部省選定・文部大臣賞	東南アジア	30分	
信州	20分	文部省選定						
京都	20分	文部省選定	大和の道	25分	文部省選定・文部大臣賞			
奈良	20分	文部省選定						
伊勢志摩	22分		南紀	28分				
山陽山陰	23分	文部省選定	瀬戸内海	31分	文部省選定			
九州やまなみ	20分	文部省選定	沖縄の心	31分	文部省選定			
九州西海	20分	文部省選定	うつわ(食器の文化)	41分				
南九州	20分	文部省選定						
光あふれる沖縄	21分							
スキースクール	22分	文部省選定						

近畿日本ツーリスト
運輸大臣登録一般旅行業第20号

生徒指導と特別活動・修学旅行〈9〉

自然教室推進事業
文部省・59年度の重点

（前号まで）
一、児童・生徒の問題行動の実態と特徴
二、生徒指導の理解と実践
三、生徒指導の具体的展開
四、教科の指導を支える生徒指導
五、特別活動の展開を支える生徒指導
六、「自然教室」と生徒指導・特別活動

（本年度の文部省の新しい事業「自然教室」の実施についての紹介）

文部省では、昭和五十九年度から、従来の「移動教室」を拡充して、全国約一千校の小、中学校を対象に、経費補助を行う五泊六日（事情によっては三泊四日～四泊五日）の「自然教室」を実施することになった。

「自然教室」の趣旨・目的や内容は生徒指導および特別活動（旅行的行事）と密接な関連をもっているので、今回とくにとりあげて紹介することにしたい。

その内容の概要は次に示す実施要項（要旨）のとおりであるが、さらにいくつかの特徴や性格をあげてみる。

◎最近減少傾向にある校内暴力をはじめ、児童生徒の反社会的・非社会的問題行動等の原因や背景を考えた場合、対症療法的な消極的生徒指導対策以前に心身共に健康な児童生徒の育成援助をめざす積極的生徒指導の充実が必要とされる。自然教室はまさにこの生徒指導の意義や目的を具現化するものである。

◎児童生徒は本来統合的な人格（パーソナリティー）をもつ存在であるだけに、人間形成たる教育も、知的・情意的・技能身体的各側面に働きかけるものでなくてはならない。このような統合的な働きかけが効果的に行われる場が集団宿泊指導である。従来の二泊三日程度ではこの働きかけが不十分とも考えられるので、これを拡充したのが自然教室であるといえる。

◎自然教室は統合的総合的教育活動であるだけに、その内容は教育課程内（各教科・道徳・特別活動）および課程外のすべての教育活動を含むものである。

自然教室
特別活動（旅行的行事）生徒指導と密接に関連

文部省教科調査官　高橋哲夫

1、趣旨

自然教室推進事業は、児童生徒が豊かな自然環境の中で集団宿泊生活を通じて人間的触れあいを深めるとともに自然との触れあい、地域社会への理解を深める学校教育活動を推進する事業に対し補助を行い、もって、児童生徒の心身ともに調和のとれた健全な育成を図る。

2　内容

(1)、(2)略

(3)補助対象事業

公立または私立の小・中学校の児童生徒を豊かな自然環境に移動させ、一定期間規律ある集団宿泊生活を通じて学校教育活動を行う事業とする。ただし、学校の年間教育計画に位置付け、教科などの授業を含むものとする。

(4)、(5)略

3　実施上の留意点

(1)原則として都会地における小学校の高学年および中学校の一・二学年の児童生徒のうち、各学校ごとに一個学年程度を対象とする。

(2)期間は、原則として一週間（五泊六日）程度とする。昭和五十九年度においては、四泊五日、三泊四日も対象となりうるものとする。

(3)利用施設は国公立の青年の家、少年自然の家、その他地方公共団体が所管する施設等とする。

4　自然教室のねらいと教育活動例等

(1)自然教室のねらい

ア、規律ある集団生活を通じ、人間的な触れあいを深め、信頼関係を確立する。

(イ)　教師と子供達との人間的触れ合いを深める。

(ロ)　子供どうしの友情を深める。

(ハ)　基本的生活習慣を身につけさせる。

(ニ)　自律的に生活する態度を身につけ、自立心を育てる。

イ、自然との触れあいや地域社会への理解を通じ、通常の学校生活では得がたい体験を与える。

(イ)　自然との触れあいを深める。

(ロ)　地域社会の生活や文化に対する理解を深めさせる。

(ハ)　勤労の尊さを体験させる。

(ニ)　たくましい心と体を育てる。

ウ、自然の中で、野外活動等を通じ、健康の増進を図る。

(2)　自然教室における教育活動の事例

○　校長訓話、オリエンテーション等

・開校式、対面式、オリエンテーション

・校長訓話

・教師の指導による話し合い

○　規律ある集団生活を通じ、責任感、社会性、基本的な生活習慣を育成する。

・規律や時間の遵守、あいさつの励行

・役割分担の遂行、整理整頓

○　地域の自然についての理解を深める。

・植物や動物の野外観察・星や月の観察・気象観測・地層、岩石、段丘等の観察・発電所、自然博物館などの訪問

○　地域の生活、文化、産業などについての理解を深める。

・地元の伝統産業、農場、工場、年中行事、史跡、文化財などについて学習し、見学する。

・地域の博物館、資料館などの訪問

・地域の地図や地形図の作成

・地域の人々の衣食住の生活などを調べる

○　体づくり、レクリエーションを行う。

・山登り・オリエンテーリング・ハイキング・ジョギング・クロスカントリー・スキー・スケート・水泳・ボート・ソフトボール大会・リズム体操・フォークダンス・飯ごう炊さん

○　言語活動を豊かにする。

・家族や友人に手紙・俳句や詩をつくる・読書、読書感想文を書く、読書感想文を発表する。

○　創造活動を通じて豊かな情操を養う。

・トーテムポールや丸太小屋などの共同製作・伝統玩具や民具の製作・スケッチや写生。

○　勤労体験学習や奉仕活動を行う。

・清掃活動・農作業・草取り、下草刈り・花壇づくり・植林

○　野外コーラスやコンサートを行う。

○　自然環境と健康との関連について理解させる。

・清流の岸辺、自然林の散策等を通じ、自然環境と健康のかかわりあいを学ぶ。

○　反省会、閉校式

(3)　留意点

○年間教育計画の中に位置づけ、事前準備、事後指導を効果的に行う。

○地元の有識者（教員、郷土史家等）の講義、説明などをできるだけ取り入れる。

○地元の学校との交流をできるだけ図る。

（つづく）

科学万博見学専用臨を
30万人の学生利用を想定

全修協……

財団法人全国修学旅行研究協会では、明年筑波研究学園都市で開催される国際科学技術博覧会を見学する児童生徒の輸送を確保するため、四月十日、国鉄に対し専用臨時列車の設定を要請した。

科学万博―つくば85見学の希望調査は、すでに昭和五十七年に実施したが、その後昭和五十八年九月六日付で文部省初等中等教育局から見学についての通知も出され、新年度を迎えて各学校からの見学希望も日増しに多くなってきている。各地からの修学旅行の外、東京都およびその周辺の各県の小学校四・五年生、中学校一・二年生を中心に、バスの確保困難と交通渋滞の見通しから、国鉄の学校専用臨時列車が運行された場合の利用予想児童生徒数は約三十万名に上るものとみられ、未来をになう青少年に対し、またとない教育の機会であるこの博覧会見学のため、臨時列車の設定を要請することとなった。運転を希望する期間は昭和六十年四月十日から七月十日までの土曜・日曜・祝日を除く六十余日間、遠足等校外学習に準ずる日帰りの時間帯とし、希望コースは上野発着の外、横浜・立川・大宮等発着のものも併せて要請した。

国鉄首都圏本部斎藤旅客課長はじめ東京南・北・西各鉄道管理局旅客課では、要請の主旨をよく理解され、臨時列車設定には種々の難点もあるが、平日の学校行事ということで検討し、実現に向けて努力を惜しまないとのことである。

学校専用臨時列車設定が決定されれば、安全快適な大量輸送が実現し、博覧会見学の効果も倍増するものと考えられる。実現の暁にはこの臨時列車の利用を是非おすすめしたい。

要請した時間帯はつぎのとおり。

①上野発8時頃、帰着16時30分頃、見学約5時間半

②横浜発6時30分頃、帰着18時頃、見学約4時間半

③立川発7時頃、帰着17時頃、見学約5時間

④大宮発8時頃、帰着18時頃、見学約7時間

59・3月　教育界のうごきから

◆「文教懇」報告書を首相に提出

中曽根首相の私的諮問機関である「文化と教育に関する懇談会（座長・井深大ソニー名誉会長）は、3月22日、わが国教育改革の具体的提案を盛り込んだ提言をとりまとめた報告書を首相に提出した。

報告書の骨子は、「今日の国民各層の意識の中で、最も強く求められているのは、いかに豊かな心を持つ人間を育てるか、という質的な要求である」との認識に立って、

①幼稚園と保育園の一元化

②大学入試は多角的な人物評価基準を導入、大学ごとの選抜方法を工夫する。

③大学の単位制などの規制を緩和、〝飛び級〟を認める。

④教員の採用に当たってインターン制を導入する。

などの具体策を提案している。

◆臨教審法案国会へ、閣議決定

政府は3月27日の閣議で、首相の諮問機関となる「臨時教育審議会」設置法案の国会提出と、内閣官房に「臨教審設置準備室」を置くことをそれぞれ決定した。同設置法案は全文十条から成り、

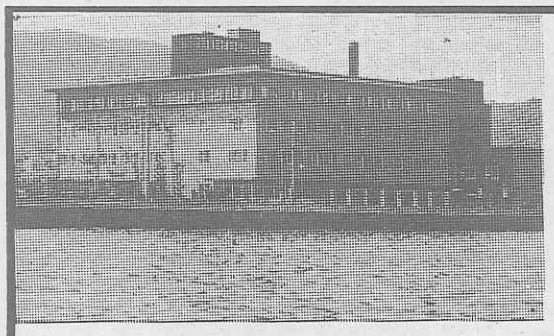
①臨教審は首相の諮問に応じて教育改革の基本的事項について調査、審議する。

②委員、専門委員は文相の意見を聞いて首相が任命する。

③会長は首相が指名する。などが骨子。

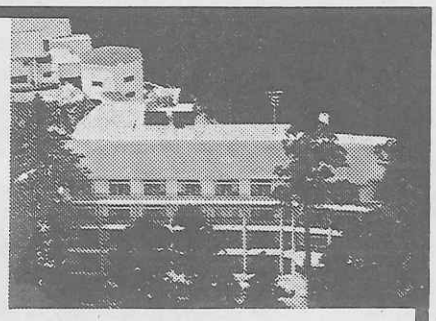
◆教員免許を三種類に、改正案国会へ

教員の資質向上を目的にかかげた教員の免許法改正案は3月27日国会へ提出。教員免許状を特修、標準、初級の三種とする、教育実習時間の増などである。


いらっしゃいませ
びわ湖国定公園
近江路の旅へ
収容　600名様
浴場　150名様
設備　全館冷暖房
防災　諸設備完備
駐車場　バス20台
政府登録
国際観光旅館　びわ湖ツーリスト・ホテル
大津市におの浜3丁目2－25　電話　大津(0775)24－2321

新しい修学旅行の幕あけ！
洋上体験学習

貸切専用外航純客船　国内、海外へ
クルーザー　さんふらわあで航く修学旅行
●阪神－別府直行大型フェリー（毎日1便）●阪神－別府航路（毎日2便）
★貸切船こはく丸（3,000㌧）もご利用ください。
お問合せは
関西汽船
●営業部営業課：大阪市北区梅田1－1　☎(06)344－7031
●東京支社：東京都中央区八重州1-4-14　☎(03)274－4273
及び各支店、営業所、旅行代理店へ

修学旅行のお宿に
全館を開放
■延暦寺会館本館
■別館比叡
■延暦寺会館第1別館　〈収容600名様〉
■延暦寺会館第2別館
☆素晴らしい琵琶湖の夜景
☆根本中堂で早朝の座禅
☆スッキリした気分で次のコースへ
☆頭のよくなる精進料理
☆夜間は講話や映画上映を無料でご奉仕

〈国際観光旅館〉
比叡山　延暦寺会館
TEL　0775－78－0047・0554
TELEX　5464－917

眼下に芦の湖、ひろがる湖尻高原。
静寂のなかに憩いのひととき―。

〈修学旅行の専用旅館〉
〒250-05 神奈川県箱根町湖尻高原
箱根高原ホテル
電話0460－4－8595（代表）